

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	7	・認知症ケアの向上・地域への発信	・法人内の取り組みである「バリデーション」を認知症ケアと本幹として考え、職員が理解・実践し現状に満足する事なく、認知症ケアの向上を図る。	・バリデーションに基本姿勢を職員に再周知行う。 ・基本姿勢実践をチェック表に記入し、月間で数字・内容を可視化する。 ・日常での実践やチェック表で評価・分析し、改善を行う(4ヶ月に1度)	12ヶ月
2	2	・地域の方と定期的な交流・関係性作り	・グループホームが地域の方の「憩いの場」になれるように発信を行う。 ・定期的・計画性をもち、保育所と交流を行う。 ・交流を外出支援として行っていきます。	・3ヶ月に1回、保育所を訪れるように定期的に計画を立案・確認・実施する。 ・園児との交流を行い、その中で馴染みの関係作り、グループホームに来てもらいやすい環境を作る。 ・年間のスケジュールに取り入れ、実施事に評価・修正を行う。	9ヶ月
3	5	・施設状態の緩和化	・離設対策として施設を行っているも、時間・解除箇所を検討し、施設の緩和化を行う。	・現在の施設状態の見直しを行う。 ・解除のルールを決め、職員に周知する。 ・利用者所在地の確認を行い、状況の把握を行う。 ・施設、解除について評価、確認行う。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。